

世界へ挑む、骨太な人材を育成 生徒の夢は学校の目標 いきいきと学ぶ環境をつくる

3年連続で東京大学に推薦入試合格者を輩出した江戸川学園取手中・高等学校。その快挙は決して偶然ではない。高い学力に加え、同校が進めている探究型学習の結実だ。41年目からの「NEW江戸取」は、さらに深化している。改革の一手を、竹澤賢司校長に聞いた。

新たな教育の始動 世界の課題に挑む

2018年度に創立41周年を迎え、「NEW江戸取」として新たなスタートを切った江戸川学園取手中・高等学校。竹澤校長は、次のように話す。

「40周年を一区切りとし、新たな気持ちで改革に着手しました。改革の狙いとして、世界に貢献できる人材の育成を掲げています。グローバル化の流れのなかで、広い視野を持つ夢を抱き、海外にも果敢にチャレンジする生徒を育てたい」

その改革を象徴するのが、探究型学習「Sustainable Development



竹澤 賢司 校長

Goals (SDGs)」プロジェクトだ。SDGs（持続可能な開発目標）とは2015年の国連サミットで採択された、持続可能な社会をめざす世界規模の課題解決テーマで、貧困や飢餓の撲滅など17の目標を掲げている。まず初めにそれぞれのテーマについて、専門家によるガイダンスを実施。生徒は、個人やグループでテーマを決めて、1年間取り組む。

例えば、高2の「えどとりフードドライブ」のメンバーは、食品ロスに着目した。「もったいない」を「ありがたじょう」に変えよう」をスローガンに、各家庭で不要な食品を集めるキャンペーンを行い、集まった300キロの食品をフードバンク茨城を経由して、生活困窮家庭の児童や生徒たちを支援している子供食堂や障害者施設などに無償提供した。在校生徒へアンケートを行ったところ、食品ロスに対する認知度が活動前後で32%から78%に上昇したという。



「えどとりフードドライブ」の生徒による活動報告書

必要です。先生方と話し合い、全員一丸となって生徒に良い授業を提供していくという方針で一致しました」（竹澤校長）

「もちろん基礎的な学力も大切です。過去のいろいろな人が積み上げてきた知識の集大成の上に学問があり、しっかりと学ぶ必要がある。それを踏まえて、さらに社会に出たときに活躍できるスキルを身につけさせたい」（竹澤校長）

このアフタースクールを実施できた背景には、実は大胆な授業改革がある。1コマの時間を50分から45分に短縮、フレックスタイムやノー残業デーなども導入して、教員の職場環境も改善。教員には空き時間を利用した仕事の効率化を求め、授業の質をより向上させるように要請した。こうして生まれた時間を、教員の協力を得てアフタースクールに当てているのだ。

「教える側が生きていくべき生きた時間、生徒がわくわくするような良い授業は、きません。そのためには教員が自由に考える時間や、自ら学び向上するような時間も

小学校の一貫生が進学 さらに切磋琢磨する環境へ

2019年度から、14年に開校した江戸川学園取手中小学校の一貫生63人が中学校に入学する。「いい影響が表れてくると思います。本学園の目標は、世界の礎となる人材の育成です。そのために12年の一貫教

育で、リーダーを育てることほのぞましいことだと考えています」（竹澤校長）

小学校では、有名な「アツの習慣」やアフタースクールも取り入れており、より骨太な人材育成を図っているという。中学から入学する生徒にとっても、良い刺激になりそうだ。

「核となる生徒が多ければ、集団の底上げが期待されます。もちろん中学、高校から入学した生徒も随時、外の風を運んで、学校を活性化してくれます。集団に対する教育と共に、生徒ひとり一人を大切に育てていきたい」（竹澤校長）

付属小学校では、英語の授業を行う

2020年度からは小学校から90人が内部進学する予定で、中学入試はさらに厳しくなりそうだ。

付属小学校では、英語の授業を行っているため、英語のスキルが高い生徒も多い。中学入試でも帰国生入試や英語型入試を導入しており、新1年生には英検2級や準2級の資格をすでに持つ生徒も多数いる。同校がめざすグローバル教育に弾みがつきそうだ。

また、グローバル教育の一環として2013年から実施している「アメリカアカデミックツアー」では、ハーバード大学で卒業生の講演を聴いたり、マサチューセッツ工科大学のキャンパスツアーや国連本部の見学、ワシントンDCでの研修会などを行ったりしている。国立航空宇宙博物館別館では、広島に原爆を投下したB-29（エノラ・ゲイ）も見学する。カナダ修学旅行やオースト

企業とコラボで製品考案 教員の職場改革も進む

このアフタースクールをきっかけに、企業とのコラボレーションでスポーツウェア「SUKETTO」を考案。生徒の視点から「下着が透けない白いウェア」を深める教養系のほか、芸術シミュレーションなどの講座もある。

「改革のいちばんの成果は、生徒が主体的に学ぶ姿勢を身に付けてきたこと。これからは生徒に多様な機会を提供し、教育を深化させていきたいですね」（竹澤校長）



アメリカ・アカデミックツアーではハーバード大学も訪れる